

【本件リリース先】

平成 30 年 11 月 16 日(金)15:00

(資料配付)

文部科学記者会・科学記者会、原子力
規制庁記者会(仮称)、福島県政記者ク
ラブ、いわき記者クラブ、いわき記者会



平成 30 年 11 月 16 日

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
廃炉国際共同研究センター

平成 30 年度第 5 回福島リサーチカンファレンス(FRC)の
開催について(取材案内)

東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所の廃止措置では、原子力分野に限らず様々な専門分野の研究者が横断的に協力し課題解決に向けて取り組むことが必要です。このため、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 廃炉国際共同研究センターでは、廃炉関連の基盤研究を取り扱う「福島リサーチカンファレンス(FRC)」を開催し、国内外の知見を活用することとしています。

原子力分野へのロボット技術の応用拡大に向けては、機器の耐放射線性向上、過酷放射線環境下での運用とその場を認識する計測技術の両面からの技術開発が必要となります。そこで、今年度の第 5 回目は、廃炉遠隔技術のための耐放射線化、運用技術及び計測技術の高度化の展望に焦点を当てたFRCを下記のとおり開催いたしますのでご案内申し上げます。

記

1. 開催概要

(1) 名称:平成 30 年度第 5 回福島リサーチカンファレンス(FRC)

(廃炉遠隔技術のための耐放射線化、運用技術及び計測技術の高度化の展望)

(2) 日時:【一般公開セミナー】平成 30 年 11 月 26 日(月) 11 時 00 分～17 時 00 分
(受付開始 10 時 30 分)

(3) 場所:富岡町文化交流センター「学びの森」
(福島県双葉郡富岡町大字本岡字王塚 622-1)

(4) プログラム:別紙参照

(5) 使用言語:日本語又は英語になります。

英語と日本語の同時通訳となります。

2. 取材申込 :取材を希望される方は、11 月 22 日(木)15:00 までに

e-mail(fukushima-kouhou@jaea.go.jp)又は FAX(024-524-1069)にて
お申し込みください。

【本件に関する問合せ先】

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

福島研究開発部門福島研究開発拠点

福島事業管理部 成田 典智 TEL 024-524-1060 FAX 024-524-1069

プログラム

第一日（11月26日） 一般公開セミナー

【開会】	11:00
司会: 木村 貴海(廃炉国際共同研究センター長代理)	
○ダニエル イラカン(経済協力開発機構/原子力機関事務次長)	11:05-11:25
○岡本 孝司(廃炉国際共同研究センター長)	11:25-11:40
【昼食、企業展示】	11:40-13:00
【基調講演】	
「福島第一原子力発電所の放射線環境とロボット技術の展開」 座長: 高橋 隆行(福島大学)	
○浅間 一(東京大学 大学院工学研究科) 「福島第一原子力発電所の廃炉のための遠隔技術の現状と課題 ～放射線環境下におけるロボット技術～」	13:00-13:40
○ウィリアム・ハメル(テネシー大学) 「原子力環境におけるロボット・遠隔システムの経験と展望」	13:40-14:20
○平山 英夫(高エネルギー加速器研究機構) 「線量概念と福島第一原子力発電所の放射線場について」	14:20-14:50
【企業展示、デモ、ビデオ上映】	14:50-15:30
【トピックス】	
「高放射線場での運用に向けて」 座長: 木倉 宏成(東京工業大学)	
○サイモン・デラバル(オックスフォード・テクノロジーズ) 「高放射線場における遠隔技術の設計と運用経験」	15:30-16:10
○黒木 伸一郎(広島大学) 「耐放射線性デバイス実用化へのアプローチ」	16:10-16:40
○佐藤 優樹(日本原子力研究開発機構)	16:40-17:00

「小型軽量放射線イメージング技術の開発と実証」

第二日（11月27日） 専門ワークショップ

【口頭発表】 「高線量率場での経験」	9:00-11:00
【ポスター発表、展示会】	11:00-13:40
【パラレルセッション】	
○耐放射線性技術（会場：学びの森）	
口頭発表「耐放射線性」	13:40-15:20
パネル討論	15:20-16:40
○放射線計測技術（会場：廃炉国際共同研究センター）	
口頭発表「放射線計測」	13:40-16:40
【優秀ポスター賞発表、閉会】	16:50-17:00

以上

※ 必要事項をご記載の上、11月22日(木)15:00までに
e-mail(fukushima-kouhou@jaea.go.jp)又は FAX(024-524-1069)にてお申し込みください。
なお、取材は11月26日(1日目)のみとさせていただきます。

※ 平成30年 月 日

平成30年度第5回福島リサーチカンファレンス(FRC)

<取材申込書>

送付先:国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構
福島研究開発部門 福島研究開発拠点 福島事業管理部 行

御社名 _____
(連絡先電話番号 _____)

取材者氏名

所属	氏名

(1) 使用言語は英語又は日本語で、英語と日本語の同時通訳となります。